

## 科学者が見る「証」の本質:EBM から「SBM」へ

責任者:仙頭 正四郎

東洋医学は経験医学で科学的でない。診断が主観的で再現性がない。全体を見る東洋医学は分析的でない。東洋医学にエビデンスを持ち込まないと相手にされない。使ったら効いたではだめでしょ。などなど、東洋医学のあり方については、いろいろと批判的表現が多いが、これが真の姿か?!どんな医療を東洋医学は目指すべきか?!をこの車座はネタにする。まず「科学」から定義付けしなければならない。我々は全員が科学者であるはずだ。各々が考える「科学の定義」を持って車座に着こう!次に「証」とは何か。これこそが「証」だという見解を持って、車座に集まろう!次に evidence とは何か!これらを入りに、evidence に基づいた科学的な根拠がなければ医学でないとする現在の風潮と東洋医学のエビデンスをネタに、議論を沸騰させる。私が提唱する東洋医学が目指すべき姿は「SBM」。はてさて、「S」とはなにか、今宵、車座で明かされる!